

日ASEAN交通分野における環境に関する行動計画の概要 別紙2

背景	地球規模の気候変動問題 (交通分野からのCO2排出は全世界の約2割)	ASEAN主要都市における大気汚染の深刻化 (自動車の急速な普及・交通渋滞等)
	ASEAN各国が計画的、戦略的に交通分野における環境対策を実施する必要性	
	交通分野における地球環境・エネルギーに関する大臣会合(MEET)の開催(H21.1 東京) ・「低炭素・低公害車交通システムの実現」という長期ビジョンを共有することで一致	
目的	日本のイニシアティブにより、ASEAN各国が自ら計画的、戦略的に環境対策を推進	

第7回ATM+J承認事項

行動計画 本体	計画期間	ASEAN各国による計画的な環境対策の推進	
	環境対策の視点	ASEAN各国が行う具体的取組み	日ASEAN交通連携における取組みの実施方法
	<ul style="list-style-type: none"> ● 知見・経験の共有と協働、技術・人材の交流 ● コ・ベネフィット・アプローチ ● 各国の現状と課題に応じた適切な取組み ● 国際機関や運輸事業者との連携、多様な資金の活用など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通分野における環境政策策定・制度整備等 ● 交通分野における環境に関する情報の共有化 ● 自動車燃費基準の整備等の単体対策 ● 公共交通機関の整備・利用促進 ● 新技術の導入促進など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修・セミナー・専門家派遣による人材の育成・制度整備支援 ● ベストプラクティス、マニュアル等の整備・活用 ● 実証実験により我が国の知見や経験を活用できる取組みを先行的に実施など

取組み リスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 日ASEAN交通連携の下、日本のリードによりASEAN各国が協調・共働して実施する取組み ● 今後日本とASEANで検討し、次回第8回ATM+J(2010年秋)に報告予定
------------	--